

# 頭蓋内病変への塞栓術の方法論の確立に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2022年8月3日 ～ 2024年3月31日

## 〔研究課題〕

頭蓋内病変の内頸動脈系 feeder への術前塞栓術の方法論の確立

## 〔研究目的〕

脳腫瘍は様々な血管から栄養を受けています。脳腫瘍の手術の前に、をカテーテルで詰めることは、術中の出血量の減少や手術時間の短縮につながり、総合的な予後を改善します。一方で、内頸動脈から分岐する栄養血管は非常に細く、角度が急なために、カテーテルの誘導が困難なケースが多いです。そのため、カテーテルの先端の形状を工夫することで、より安全確実にカテーテルを誘導できるか検討することを目的としています。

## 〔研究意義〕

安全確実な術前塞栓術の方法論を確立することで、頭蓋内腫瘍の患者様の手術をより安全に行うことが可能となります。

## 〔対象・研究方法〕

- ・研究デザイン：本研究は後ろ向き観察研究です。
- ・対象：2021年4月1日～2022年5月31日の間に、当院脳神経外科でカテーテルを用いた頭蓋内疾患術前塞栓術を受けた方

## 〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院

東京大学医学部附属病院

埼玉医科大学総合医療センター

## 〔個人情報の取り扱い〕

本研究に関わる全ての情報の取り扱いには患者様の秘密保護に最大限配慮します。個人情報をデータ化する際は、患者氏名及びカルテ番号を患者様の氏名及びカルテ番号を特定出来ないように変換します。この際、個人情報との連結表であります「匿名化番号対照表」のデータファイルを作成し、情報管理責任者が厳重に管理し、研究データの照会時のみに用いられます。研究の結果を公表する際は、患者様を特定できる情報は含まれません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

#### 問 い 合 わ せ 先

研究責任者：庄島 正明 （帝京大学医学部脳神経外科学講座 教授）

研究分担者：

大山 裕太 （帝京大学医学部脳神経外科学講座）

平野 雄大 （帝京大学医学部脳神経外科学講座）

住所：〒173-8606 東京都板橋区加賀 2-11-1 帝京大学医学部附属病院 脳神経外科

TEL：03-3964-1211 （代表） [内線 7275]